

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA AIRPORT since 29 July, 1974

2016～2017年度RIテーマ:『 ～ 人類に奉仕するロータリー～ 』
ガバナー方針:『 ～ 真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう～ 』
クラブ方針:『 笑顔と共に奉仕の輪を広げよう! 』
～ 明るく・楽しく・心豊かに～



名古屋空港ロータリークラブ

事務局
名古屋市中村区名駅4-3-10 東海ビル606号室
TEL(052)561-2405 FAX(052)571-2867
E-mail rongoapt@mta.biglobe.ne.jp
会長/ 武田 英昭
幹事/ 田邊 雅彦
広報委員長/ 太田 威彦
例会日/毎週月曜日 12:30～13:30
例会場/キャッスルプラザ



第1908回例会

2016年9月12日(月) 第9回

- 点 鐘 会長 武田 英昭君
- 斉 唱 「奉仕の理想」「夏の思い出」
- 例会行事 ガバナー補佐訪問
ガバナー補佐卓話
- ゲスト 古田 嘉且ガバナー補佐
岩月 一郎地区副幹事
波多野智章分区幹事
尾関 育良分区副幹事
谷 泰男地区スタッフ
- 司 会 SAA委員 山北 秀和君

会長挨拶

名古屋空港ロータリークラブ会長 武田 英昭君



会員の皆様、今日もお元気で、例会に出席をして頂きありがとうございます。

先週末(9/10)の第21回全国空港RCフォーラムは、来訪6RC、ご家族含め121名のロータリアンが参集し、空港の安全と発展を願う盛大な空港RCフォーラムが開催できました事、竹尾フォーラム実行委員長、各実行副委員長はじめ会員皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。次回は、松本空港RCがホストとして開催する事が決まりました。次年度の事ですが、是非とも多くの方がご出席して頂く事をこの場でお願いする次第でございます。

本日は、第2760地区東尾張分区の古田ガバナー補佐、岩月地区副幹事、波多野分区幹事、尾関分区副幹事、谷地区スタッフの皆様をお迎えしての例会でございます。

古田ガバナー補佐は、2010～11年江南RCの会長等歴任され、皆様もご存知の方も多いかかと存じますが、岩月地区副幹事、谷地区スタッフは、服部ガバナーを輩出しております岡崎RCから、波多野分区幹事、尾関分区副幹事は、古田ガバナー補佐と同じ江南RCのメンバーです。岩月副幹事はじめ地区・分区スタッフの皆様は、其々のクラブ、当地区の将来を担う優秀なロータリアンと伺っております。

本年度、第2760地区 服部ガバナーは、「会費を払い、ロータリーの友を購読し、例会に出席すればロータリアンなのでしょうか・？」と、地区内のロータリアンに問い掛けをし、そして「真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」と地区テーマを掲げられました。この難解なテーマに古田ガバナー補佐は、東尾張分区12RC、470名余りのロータリアンのリーダーとして重要な職務にあたっておられます。

古田ガバナー補佐のメッセージの中に「玉虫色というのは、色々な色が重なり合い、微妙な色を作り出す。そして、個性が集まってこそ、初めて、其々のクラブに玉虫色の特性を光らせます。」と記されております。

当クラブにおいても、職業も考え方も違う見ず知らずの者同士が、ここに集い、ロータリーという輪の中で同じ目的を持って行動する。考えてみれば不思議なことでも見えない糸に結ばれているようにも思えなくもありません。

そんな観点に立てば、古田ガバナー補佐のお言葉を借りるならば、当クラブは、42年の長きにわたり会員の個性である様々な色が重なり合い、名古屋空港RCという素晴らしい玉虫色の光を輝き続けていることとなります。

後程、古田ガバナー補佐から例会での卓話と、例会後のクラブ協議会において本年度第2760地区の方針、重点課題等、ロータリー活動についてご示唆を頂く事になっております。

最後に本日、例会、クラブ協議会后、古田ガバナー補佐

に、当クラブの素晴らしい玉虫色が、どのような色に映るのかが、大変楽しみであることに感謝し、若干、短めですが、本日の会長挨拶といたします。

本日の協力 41名 51,000円
 本年度の協力累計 403,000円

委員会報告

●出席報告 (早川 正倫副委員長)

本日の例会					
会員数	53		出席率	95.19%	
出席者	出席義務者	33	欠席者	出席義務者	2
	出席免除者	14	欠席者	出席免除者	4
	出席者計	47	欠席者計	6	
前々回例会 (9月5日)					
会員数	53		出席率	98.04%	
出席者	出席義務者	34	欠席者	出席義務者	1
	出席免除者	16	欠席者	出席免除者	2
	出席者計	50	欠席者計	3	

●ニコニコボックス報告 (友原 寛之委員)

古田ガバナー補佐、地区、分区スタッフの皆様をお迎えした喜びで。

武田 英昭 君

古田ガバナー補佐をお迎えして。

田邊 雅彦 君

稲熊君、早川君、過日は大変お世話になりました。

市川 孝 君

全国空港フォーラムでは会員の皆様にご大変お世話になりました。

竹尾 悟 君

古田ガバナー補佐をお迎えして。

波多野 真 君

皆様、空港フォーラムご苦労様でした。ゴルフコンペも無事終了しました。

稲熊 正徳 君

今日も元気で!

阿萬 裕子 君	石川 良治 君	石原 慎一 君	君
伊勢村道雄 君	伊藤 康司 君	伊東 由之 君	君
稲吉 将秀 君	井上 政秋 君	入谷 宏典 君	君
内海 辰巳 君	梅本 昌裕 君	太田 威彦 君	君
太田 哲郎 君	金井 和治 君	川口 直也 君	君
北園 守生 君	串田 正克 君	栗田 和典 君	君
近藤 和彦 君	三治 明 君	柴田 和宏 君	君
杉本 敦永 君	高山 光雄 君	田中 秀典 君	君
土屋 範郎 君	照井 通夫 君	友原 寛之 君	君
早川 正倫 君	松本 雅人 君	真城 壮司 君	君
村瀬富三夫 君	安江 寛二 君	安川 正勝 君	君
山内 佳紀 君	山北 秀和 君		

御協力ありがとうございました。

ガバナー補佐卓話



古田 嘉且ガバナー補佐

今年度、東尾張分区担当ガバナー補佐を仰せつかっております。江南ロータリークラブの古田嘉且でございます。よろしくお願ひ致します。本日は、限られた時間での訪問ではありますが、地区方針及び2016年規定審議会決定事項を中心に、お話しさせて頂きたいと思ひます。

I. 地区方針

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、倫理感と高潔さを失わず、世界理解、親善、平和を推進することであります。

今年度、服部良男ガバナーは、ジョン F・ジャーム RI 会長方針の元に、IT 化推進を行ない、ロータリーの活動の記録を残し、親睦と奉仕の感動の共有を行ない、ロータリーの魅力の発信を行なうことを推奨されております。手続要覧によりますと、ロータリアンは、地域社会におけるロータリーの発展と、奉仕活動を改善するために、ロータリーとは何か、ロータリーが何をしているのかについて、広くクラブを紹介するよう求められています。

しかし、今、ロータリーは、何をしている。この問いに、誰も明確な答えは、返ってこない、広報は問題視されてきました。

公共イメージ大規模調査結果によれば、ロータリーについて、名前も聞いたことがない人が4割、名前だけ聞いたことがある人4割を含めて、8割が、ロータリーが何をしているか知らない、という結果でした。ロータリーは、意義ある活動を行なっているにもかかわらず、それが認識されておりません。これによって、ロータリーが持つ可能性を、最大限に引き出すのが難しくなっています。

日本の会員数は、1996年11月末の130,982人をピークに、3割以上が減少し、2016年3月末現在、88,667

人で、9万人を切るようになりました。会員増強にも、広報は、深く関わっています。

ロータリーのIT化推進とは、公共イメージの向上が難しい今、情報通信上の技術を駆使して、一般社会に、飛躍的に広報しようとするものです。

ところで、国際ロータリーでは、創立100年を契機に、ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針として、ロータリー戦略計画を発表しました。2007年以来、RI理事会は、ロータリー戦略計画における3つの戦略的優先項目。すなわち、①クラブのサポートと強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージと認知度の向上 を掲げ、その目標を実現するために努めてきましたが、その中でも、ロータリー戦略計画の中心となるものが、IT化推進であります。

一方、私達の価値観は、組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても、重視される要素であります。そこで、国際ロータリーでは、2007年、ロータリーの中核的価値観として、奉仕（Service）、親睦（Fellowship）、多様性（Diversity）、高潔性（Integrity）、リーダーシップ（Leadership）の5つを採択し、ロータリーブランドそのものを示す重要なものとしています。

国際ロータリーは、ロータリー戦略計画を遂行中であります。それは、ロータリーの輝きを持続可能にする戦略であり、中核的価値を再認識して、奉仕活動で仲間のロータリアンや、ロータリアンではない地域の人々に対して、その価値を認識してもらおうという、ブランドマーケティングだと言えます。

2016-2017年度、国際協議会にて、ジョンF・ジャームRI会長の方針は、服部ガバナーに伝えられました。服部ガバナーは、地区のビジョンとして、「10年後、20年後も地区の輝きが、持続可能であること」を掲げられました。

国際ロータリー第2760地区は、日本にある34地区の中でも、最も活性化し、輝いている地区の一つであるが、この地区の輝きが、10年後、20年後も持続可能であり続けるには、今、国際ロータリーが取り組んでいる戦略計画を、当地区でも実行することが必要不可欠であると、服部ガバナーは言ってみえます。

そのために、今年度、当地区に、「戦略計画委員会」が新設されました。「研修委員会」は、実行組織としての役割と、委員を変更し、地区の各委員会と戦略計画との調整を行ないます。また、My Rotaryの登録と利用の促進、Club Centralの活用、ソーシャルメディアの普及のために、「公共イメージ向上委員会」を新設し、広報部門を統合しました。

一方、今年度の最重点戦術として、オンラインツールとソーシャルメディアの活用を挙げてみえます。

具体的には、第1に、My Rotaryの登録と活用。50%の達成を目標とします。My Rotaryとは、2013年8月に、一新されたRIのホームページ会員専用サイトのことで

す。第2は、Rotary Club Centralの活用。100%達成を目標とします。Rotary Club Centralとは、クラブの年度目標を立て、進捗状況を確認し、目標を達成するためのものです。第3は、ソーシャルメディアによる広報です。まずは、各クラブのフェイスブック開設を目標としています。

さらに、My Rotaryに登録・利用し、そして、Rotary Club Centralを利用し、Facebook、Twitterなどの、ソーシャルメディアを活用できるロータリアンを、My Rotarian（マイロータリアン）と呼び、地区委員会や各クラブで選任してもらい、公共イメージ向上委員会が支援しながら、マイロータリアンの数と質を向上させることが重要となります。

ところで、今年度は、ロータリー財団設立100周年を迎え、各所で、これを祝う記念イベントが開催されます。当2760地区もこれに合わせて、「第4回ワールドフード+ふれ愛フェスタ」が10月22日～23日の2日間、昨年と同じ会場、栄地区（久屋大通公園・希望の広場）にて開催されます。このプロジェクトは、各クラブ、地区をあげてのイベントであり、ロータリアン全員の参加型イベントとして位置付けされていますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

II. 2016年規定審議会決定事項

2016年4月、シカゴで規定審議会が開かれました。そこで、ロータリーの方針の見直しを行ない、クラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定をしました。

何故、変更が必要なのでしょう？インド、韓国、ドイツ、台湾など、一部の国や地域で、ロータリーが急速に成長している一方で、米国、日本、英国、オーストラリア、カナダなど、会員数の減少や会員平均年齢の高齢化と言った問題に、直面している国や地域もあります。

これまで15年間、ロータリーでは、会員資格、職業分類、クラブ運営に革新性を取り入れた試験的プログラムを実施してきました。これらの試験結果や会員からの報告によると、例会方法、会員資格、クラブへの参加方法などについて、クラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、成長する傾向にあることが分かっています。

そこで、今回の規定審議会の決定により、すべてのロータリークラブは、例会や出席、クラブの構造、会員種類について、規定審議会が承認した新しいオプションを取り入れて、クラブ細則を修正することが可能となりました。具体的には、

- 例会の曜日と時間を、自由に決定する
- 必要に応じて、例会を変更または中止する
- 奉仕プロジェクトまたは、社交行事を「例会」とみなす
- 直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行なう例会、あるいは、両方の方法を同時に用いる例会のいす

れかを選ぶ

- ・ クラブ例会を少なくとも月 2 回開催する ことなどです。

ただし、ここで注意して頂きたいことは、これらの規定審議会の決定は強制ではないので、標準ロータリー定款の現行の規定に変更を加えるものではありません。例会や出席、クラブの構造、会員種類について、変更を採用することをクラブが選択する場合は、クラブ細則を修正する必要があります。

一方で、これらの変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を取り続けることができるということです。

また、その他の決定事項としては、

1. E クラブと従来型クラブを区別する必要性がなくなったこと

2. 会員種類について、クラブが地元のニーズに応じて準会員、法人会員、家族会員など、新しい会員種類を追加できるようになったこと

3. ロータリークラブ入会の資格を満たす現役ローターアクターが、ローターアクト会員であり続けると同時に、ロータリークラブに入会できるという二重会員身分

4. RI 細則とクラブ定款から「入会金」が削除され、新会員は入会金を支払わなくても入会できるようになったが、これは各クラブの裁量で今後も、クラブ細則に加えることで、入会金を徴収できる。

以上、いずれの変更も、2016 年 7 月 1 日に有効となります。

しかしながら、規定審議会で変更があったからと言って、今、慌てて理事会等で、決議する必要はないと考えています。12 月のクラブ総会までに、各クラブにおいて、クラブ定款・細則に、十分議論を重ねて決定して頂ければと思っています。

Ⅲ. ロータリー雑感

今、ロータリーが大きく変わろうとしています。ロータリーが創立された当時は、いかにして利潤を独占しようかと、資本家が弱肉強食の競争に明け暮れていた時代でした。もしも、この街の中で、心から何でも相談できる、また語り合える友人が居たらどんなにすばらしいことだろう。そういう発想から、ロータリーは生まれました。

親睦と相互扶助から始まったロータリーは、アーサー・フレデリック・シエルドンの影響を受けて、職業奉仕に基づいた販売学の導入を受け入れて、大きく発展しましたが、やがて、社会奉仕活動に大きく転換し、今や世界最大の NPO 組織として、大規模なボランティア活動に専念するとともに、会員同士による積極的な相互扶助活動に、回帰しようとしています。

ロータリーは、何処に進もうとしているのでしょうか。

RI 第 2680 地区 田中毅パストガバナーによれば、1970 年代後半から、ロータリーは、大きな危機の時代に突入し、その原因として、第 1 に、経済システムが大きく変化し、虚業的投資会社が現われて、経済の実態を変える

と共に、職業倫理の低下をもたらしたこと。第 2 に、奉仕哲学の変化と間違った解釈。第 3 に、国際ロータリーの組織が巨大化、中央集権し、活動方針が変化したこと。第 4 に、クラブの管理運営が変化し、親睦が欠如し、クラブ例会が形骸化したことなどを挙げられています。

従って、これらの諸問題を解決することによって、ロータリーは、奉仕クラブとして、発展することができると思われます。

ところで、ロータリーは、ロータリー運動の概念を現す言葉であって、その原点となるのは、ロータリアン個人です。そのロータリアンの集合体が、ロータリークラブであり、ロータリークラブの連合体が、国際ロータリーです。国際ロータリーは、ロータリークラブの連合体であって、個々のロータリアンを規制する権限は、持っていません。

国際ロータリーのテーマ、動向、要請を十分に理解することは、大切なことです。忘れてはいけない事は、ロータリークラブやロータリアンは、定款や細則に違反しない限り、どのように考えるか、どのような行動をとるか、自由なのです。これがロータリーにとって重要な自治権であり、逆に、難しいものなのです。

何事でもそうですが、原点を知り、原点を大切にします。人や組織が成長するための基本だと思えます。すなわち、ロータリー運動が、飛躍的に発展した、創立当初の奉仕理念の原点を探って、その原点に回帰しようとする努力が、必要ではないのでしょうか。

例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として、奉仕の心が生まれる。そして、例会で学んだことを奉仕活動として、実践する場が、家庭、職場、地域社会、国際社会などの社会です。これが、「入りで学び、出でて奉仕せよ」です。ロータリアンの奉仕の実践の全てが、この言葉に、凝縮されています。今一度、思い起こす必要があるのではないのでしょうか。

2012-2013 年度国際ロータリー会長 田中作次氏は、ロータリーは、忍耐と寛容と謙虚さが大切と言われている。この三つの言葉をもって、ロータリー活動を実践していくならば、ロータリアンとして、素晴らしい日々を過ごせるとも言われています。

その田中作次元 RI 会長に、基調講演をお願いし、2016-2017 年度東尾張分区 IM を 2016 年 11 月 20 日（日）、名鉄犬山ホテルにて、開催させて頂きます。当日は、田中作次元 RI 会長との質疑応答の時間を、十分、取ってありますので、皆様の参加をお待ちしております。よろしくお願い致します。

ロータリーに入会した時、ロータリーの本質は「出会い」であると、よく言われました。「善き仲間との出会いが、ロータリーの目指すところである」と言う方も少なくありません。

奉仕とは、他者への働きかけであるように見えて、実は、自分との戦いであり、結果として、心の豊かさが与えられるもの、ではないのでしょうか。

皆様との「善き出会い」に、心から感謝申し上げます。
本日は、お忙しい中、ご清聴頂きまして、本当に有り難う
ございました。

第2回クラブ協議会議事録

平成28年9月12日

日時 平成28年9月5日(月) 13:30~14:50

場所 キャッスルプラザ 4階 菊の間

1、田邊幹事の進行により、クラブ協議会が開会された。

2、会長挨拶では、本日、古田ガバナー補佐、岩月地区副
幹事、波多野分区幹事、尾関分区副幹事、谷地区スタッフ
をお迎えしての協議会で私どもRCの活動方針等報告をし
て頂く事で挨拶する。

3、古田ガバナー補佐より地区の方針で12クラブを7月
より回り11クラブ目となるご挨拶を頂き、岩月地区副
幹事、尾関分区副幹事、波多野分区スタッフ、谷地区スタ
ッフのご紹介も頂き、うち3人が申年で60歳、48歳、
36歳と将来を担う優秀なスタッフであることをご紹介頂
く。

議題

① 各委員会の活動方針並びに報告について、各委員長よ
り名古屋空港RCの活動をクラブ計画書に基づき詳細
に報告した。

②

・会員増強委員会 照井増強委員長、波多野情報副委員長、
伊勢村退会防止副委員長

・クラブ広報委員会 太田委員長・クラブ奉仕委員会 早
川出席副委員長 稲熊副委員長

・親睦活動委員会 内海委員長、近藤副委員長

・SAA委員会 三治委員長例会運営 安江副委員長

・社会奉仕委員会 串田社会奉仕 環境保全・青少年奉仕
委員会杉本委員長、阿萬副委員長

・職業奉仕委員会 入谷委員長・国際奉仕委員会 竹尾委
員長

・R財団・米山奨学委員会 中島委員長・会計 柴田委員
長

・新入会員挨拶・伊藤康司君、石原慎一君、梅本昌裕君

古田ガバナー補佐より総評にて、名古屋空港RCは武田
会長クラブテーマにあるよう明るく、楽しく、心豊かに皆
が活気にあふれ、ゴルフ部会、写真部会も盛んで、奥様同土
のすみれ会もコミュニケーションがとれ会員を元気にサポ
ートして運営に協力している事、クラブ奉仕も出席率も良
好、ニコボックスの最高協力賞も他にはない特徴であるこ
と、ニコの発表もメッセージを読みながらアドリブで盛り
上げる事、4つのテストも全員で例会にて唱和する事もア
ドバイスを頂き、ロータリーの基本は例会に参加、例会の
充実、社交クラブとして奉仕をする人を育てる場所である
こと、最後はロータリーで人間形成に役立てて各委員会の
宝石箱を光輝かせてほしいと述べられた。その後、田邊幹
事が協議会を閉会した。

議事録 松本 雅人

有限会社 ウェイブ
代表取締役 安川 正勝

〒467-0045 名古屋市瑞穂区茨木町13
TEL 052-837-3276
FAX 052-837-3569

公認会計士山内佳紀事務所

公認会計士・税理士 山内 佳紀

〒466-0807 昭和区山花町94番地の4
TEL 052-761-1386 FAX 052-761-1869
E-mail:y.yamauchi@sapphire.bforth.com

不動産総合企画コンサルタント

中日実業株式会社

名古屋市中区東桜2-22-25 (CBC放送局前)
TEL (052) 932-3271 (代)

山北 秀和

不動産コンサルタント

株式会社 山田事務所

代表取締役 山田 幹雄

電話(052) 265-1038